

すきまウメピタル – のり枠背面空洞化充填材 –

のり枠背面の空隙を確実に充填するプレミックスタイプの高機能充填材

「すきまウメピタル」はプレミックスタイプの空洞化充填材です。チクソトロピー性を有しており、注入圧をかけることで空隙に隙間なく充填することができますので、のり枠背面の空洞化した箇所で高い充填性能を発揮します。

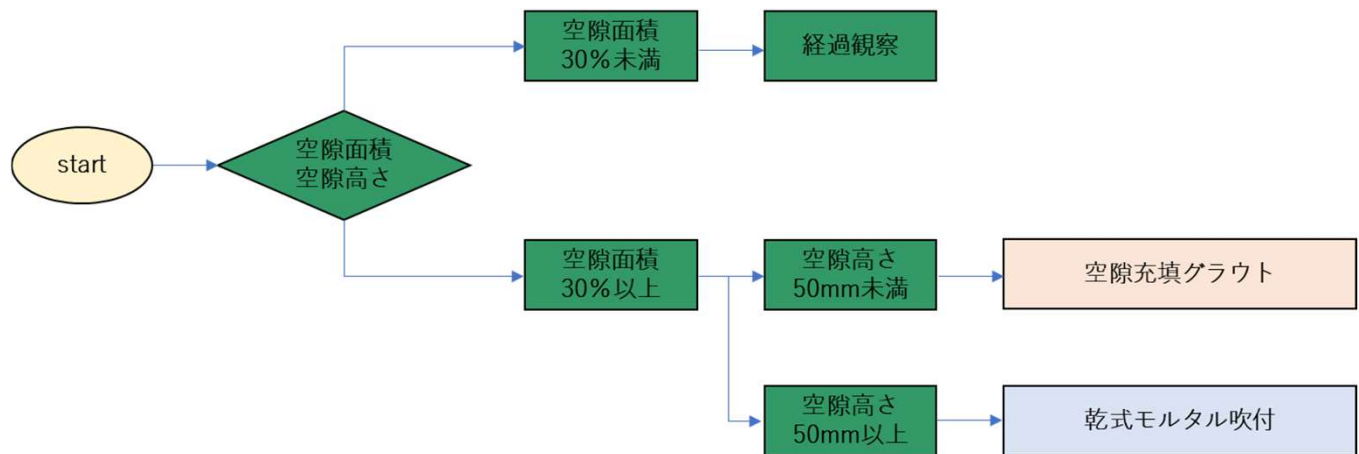
1. 特長

- 優れた充填性：チクソトロピー性を有しており、注入圧をかけることであらゆる空隙にも隅々まで充填することが可能です。
- 良好な作業性：ダレが生じにくい性質（保形性）のため、充填後の形状保持に優れ、短期間での脱型が可能です。

2. 用途

のり枠背面の空洞箇所の充填

※アンカー健全度調査維持管理補足マニュアル（一般社団法人アンカー健全度協会）に基づき、隙間高さが50mm未満（5cm未満）の箇所に適用します。
（50mm以上の場合は、乾式モルタル吹付等の別工法にて対処）



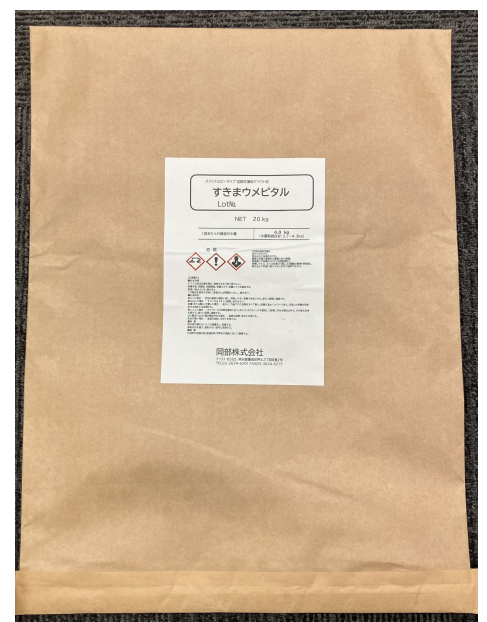
空隙の限度による背面処理方法選定フロー施工要領（案）参照

3. 標準仕様（参考）

すきまウメピタル	水	練上がり量
(kg)	(リットル)	(リットル) ※水が4リットルの場合
20	3.7～4.3	約11

項目	試験値（目安）	備考
フロー値	0打：125mm 15打：195mm	フローテーブル試験 ※気温により調整が必要
圧縮強度	材齢 7日：30.0 N/mm ² 材齢28日：36.6 N/mm ²	参考値

※施工性、充填性を確保するため、ターゲットとするフロー値は160～200を目安にしてください。
（気温や勾配など現場条件により調整してください）



荷姿：20kg/袋

5. 施工方法

①使用機械の選定

モルタルポンプは、連続して施工できる容量のホッパを備えた「スクイズ式ポンプ」を使用してください。

②型枠の設置

空洞化箇所型枠を設置し、注入孔に治具を挿入してください。本製品はチクソトロピー性が高く、自然流下しません。ポンプ等の圧力がかかっている場合のみ流動します。

③練混ぜ

ハンドミキサーまたはパン型ミキサーを用います。

所定量の水を加え、練混ぜ時間 120～180秒を目安に練り混ぜてください。

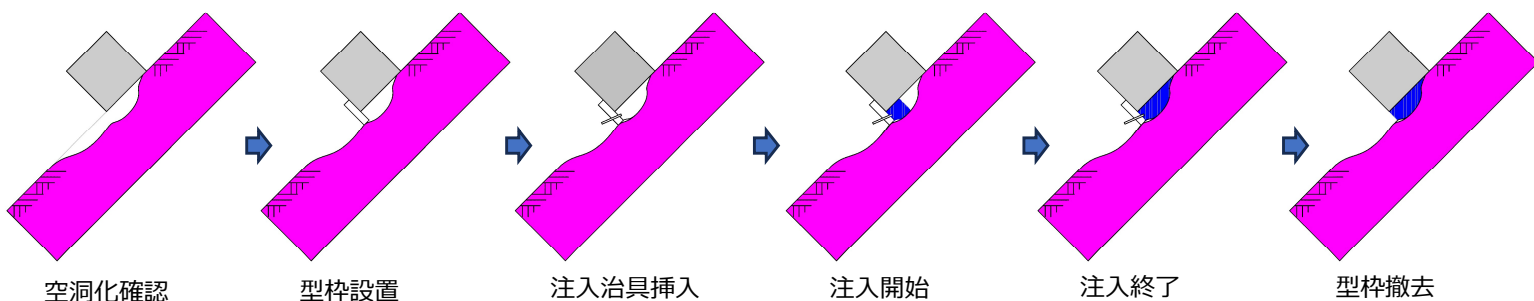
④充填（圧入）

練り上がった材料をモルタルポンプを用いて施工箇所へ圧入してください。

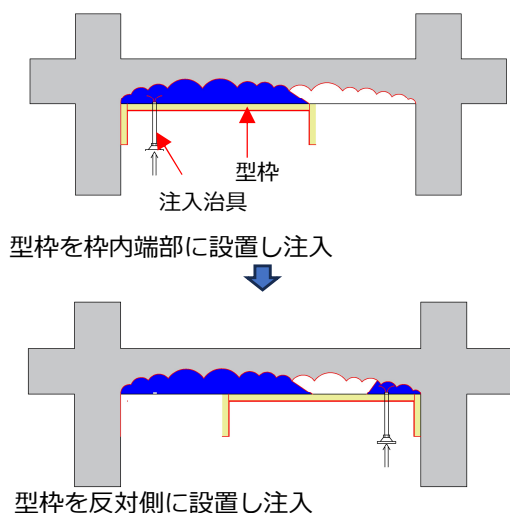
⑤養生

施工後は、表面乾燥によるひび割れが入る可能性がありますので、できる限り噴霧器などで水分の補給をしてください。

施工手順（断面）（例）



施工手順（平面）（例）



注入状況

6. 取り扱い上の注意

- 降雨時または降雨後など、地山が過度に湿潤状態だと逆に土砂が流出する恐れがあります。
- 使用前に必ず安全データシート（SDS）を読み、適切に取り扱ってください。
- 取り扱いの際は、保護手袋・保護メガネ・防塵マスクを着用してください。
- 練混ぜ水量は、環境温度、施工方法により微調整してください。
- 保管は直射日光を避け、湿気のない室内に保管してください。
- 製品改良のため製品仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。



フリーフレッド協会

協会員

〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2
TEL03-3624-8374 FAX03-3624-5189